

基本情報



【年 齢】
41歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前 職】
会社員
【活動時期】
R3.11～ R6.10
(1年目)

活動内容

●「地域のおそびば ミナミナ」の設置・運営

人が集える場所、町の人と触れ合う場所、地域おこし協力隊として町の“素敵”を伝えたり、職業訓練をしたりする場所が欲しいとの思いから、2022年8月に設置。

「そうべつを知り、そうべつをつなげる」をテーマに町のコミュニティスペースであり、地域おこし協力隊の活動拠点として運営。

町のワインぶどうの収穫祭と銘打って、生産者を交えた懇親会を行ったり、町内外の何かをやりたい方を巻き込んでイベントを開催したりするなど、町の新たな賑わいの場としても活用している。



●移住相談対応と移住体験住宅の運用

移住検討者の相談窓口として、自身の移住の経験や、町の制度や町の様子、町内外の資源について、移住検討者に生の情報を提供している。移住検討者が納得して移住できるように情報提供するように心がけ対応している。

また町の移住体験住宅の運営管理も担っている。



●オンライン移住イベントの開催

北海道の移住担当者の任意団体「北海道移住のすゝめ」に所属し、不定期でオンライン移住イベントを開催しています。



協力隊に応募したきっかけ

学生時代から、田舎の豊かな資源に魅力を感じ、田舎の豊かな資源を都会生活者に発信し、都会に豊かさを、田舎に消費をもたらすような循環をつくりたいと考えており、何より自分も豊かな田舎で生活をしたい、という思いから移住を決断した。豊かな資源を持つ北海道を中心に移住先を検討し、洞爺湖畔と町の雰囲気を見て壮瞥町に移住したいと思うようになった。そのタイミングで壮瞥町で移住・定住担当（移住コンシェルジュ）の地域おこし協力隊を募集していたため応募に至った。

今後の抱負・任期後の目標

移住・定住担当の地域おこし協力隊としては、現状、移住検討者へのオンライン移住セミナーや移住相談の対応を行っている。今後は、定住施策として移住済みの方のフォローアップにも力を入れていきたい。具体的には移住者同士をつなぐ懇親会の開催や、移住者コミュニティ作りに取り組む予定。また任期後は、洞爺湖畔の見える場所に拠点を構えて、食を中心に人が集う場所を持ちたいと考えている。

連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(町のブログ) <https://www.town.sobetsu.lg.jp/iju/kyo/>

(町のfacebookページ) <https://www.facebook.com/Sobetsu>

(町のinstagramページ) <https://www.instagram.com/sobetsu/>